

暑さに負けず球技で激闘

第17回子ども会対抗球技大会

8月8日（金）甲佐小学校体育館で、第17回子ども会対抗球技大会が開催されました。

同大会は、子どもたちの健全育成と子ども会の親ぶくを目的に、甲佐町青少年健全育成町民会議（奥名克美会長）と町教育委員会が主催。ビーチボールバレー、室内ペタンク、ストラックアウト、アジャタの4種目に34チーム135人が参加して熱戦を展開。

真夏の暑さに負けない元気な子どもたちの活躍に、会場からは大きな声援と歓声が上がりました。



▲ボール100個をバスケットに入れる時間を競うアジャタ



▲ロアッソ熊本の応援を呼び掛けるため町を訪問

ロアッソ熊本をJ1へ

ゲーフラアワード2014の作品募集

8月6日（水）「ロアッソ熊本をJ1へ」県民運動推進本部や熊本日日新聞社などをつくる「みんなでいこうJ実行委員会」が、奥名克美町長を表敬訪問しました。

同委員会はサッカーJリーグ2部・ロアッソ熊本の応援を呼び掛け、10月19日（日）うまかな・よかなスタジアムで開催されるフェスタで使用するゲート型の応援フラッグ（ゲーフラ）を作成する「ゲーフラアワード2014」をPRしました。

同アワードでは個人や団体、企業などから応援フラッグを募り、熊日の特集紙面やホームページなどで紹介し、フェスタ当日に表彰を行う予定です。

次代に受け継ぐ郷土の歴史

第2回『新甲佐町史』歴史研修会を開催



▲甲佐の歴史の1つである緑川の成り立ちや、現代に受け継がれた遺構について『新甲佐町史』を基に講演する町史編集委員長の佐藤さん

8月12日（火）町生涯学習センターで、『新甲佐町史』歴史研修会が開催されました。

同研修会は、甲佐の自然環境、生物、原始・古代、中世、近世、近代、現代、民俗、緑川の9つのテーマに沿って編さんされた『新甲佐町史』を用いて、甲佐の今と昔を考え成り立ちを追うことを目的に町教育委員会が主催。全4回のうち、第2回は「緑川をめぐる伝承を考える」という演題で、講師の県文化財保護審議会委員で町史編集委員長でもある佐藤征子さん（仁田子区）が『新甲佐町史』に編集された資料を基に講演し、約70人が本町の歴史を学びました。

加藤清正の治水工事後、甲佐の産業発展に大きな役割を果たした緑川の成り立ちや、鵜ノ瀬堰（ぜき）などの伝承にまつわる遺構について、同史の編さん時に新たに収集した資料を基に検討した内容と、郷土に受け継がれる歴史を伝えました。

第3回は、熊延鉄道などをはじめとする交通の変化から甲佐の近代について検討した内容をテーマとして、11月1日（土）に開催します。